

## 環境報告書

令和6年 8月報告

ふりがな	ふじこむてっく かぶしきがいしゃ			認定 ランク	☆☆
事業所名	富士コムテック 株式会社				
概 要	所在地	長野県松本市島立 1132 番地 26			
	代表者名	代表取締役 宮尾 文夫			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	・事業内容 【情報・通信システム販売／電気通信工業／消防施設工事業／電気工事業など】 ・従業員数 全社 40 名（松本 19 名）			
	担当者	所属	総務・経理グループ	氏名	吉江 俊朗
	連絡先	電話	0263-40-5522	FAX	0263-40-5532

## ○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	会社経営方針をもとに全社員が地球環境問題に取り組み、以下の指針に従いその目標達成に向けて継続的改善に努める 1. 事業活動において関連する環境の法規制やコンプライアンスを遵守する 2. 当社の事業活動（特に電気通信工事等）が環境に与える影響を考慮し、またエネルギー使用量など環境データを常に測定し、CO2削減などその改善計画を策定し、実行する。 3. 環境経営方針は全社員に周知し、定期的な教育を行い、環境意識の向上に取り組み、環境経営の継続的改善を行います。
環境に関する取組目標	別紙 1 環境経営目標を参照ください（エコアクション 21 レポートより）
具体的な取組内容	別紙 2 環境経営計画を参照ください（エコアクション 21 レポートより）
実施結果（成果）	別紙 3 環境を経営目標の実績と評価 1) を参照ください （エコアクション 21 レポートより）
課題・問題点と その改善に向けた取組み	別紙 3 環境を経営目標の実績と評価 2) を参照ください 別紙 4 経営者の全体評価と見直し・支持を参照ください （いずれもエコアクション 21 レポートより）
その他、 アピールポイント等	1) 長野県 SDGs 推進企業に登録し、活動を推進中 2) eco オフィスマつもとの認定ランクアップに向けて活動推進中 3) 諏訪湖クリーンプロジェクトに参画 4) 長野県働きいきいきアドバンスカンパニー（ワークライフバランス）認証 2024年1月 5) 夏用ユニフォームに半袖ポロシャツを採用・支給した・・・猛暑対策

○ 猛暑対策への取組みの内容

従来の夏の服装（長袖シャツ）



2024年7月 半袖ポロシャツ購入



【別紙 1】環境に関する取組み目標

環境経営目標

単年度（2023年度）と中長期の目標

（2022年実績を踏まえ、2023年単年度とその後の中期目標を示す）

目標設定：2023年2月22日

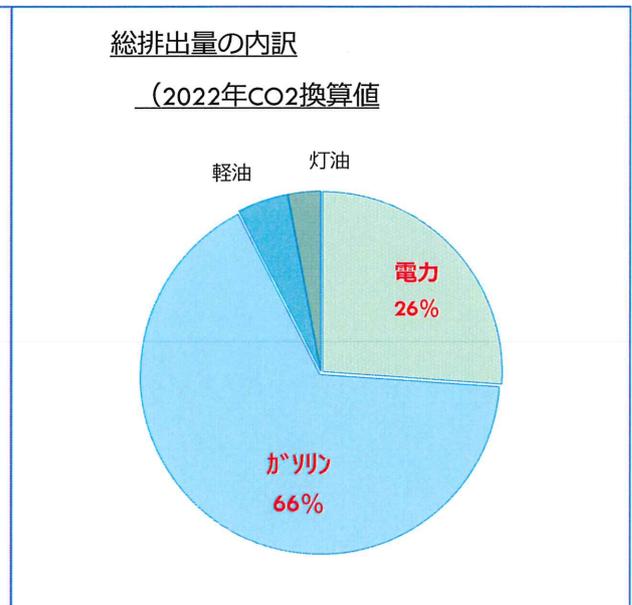
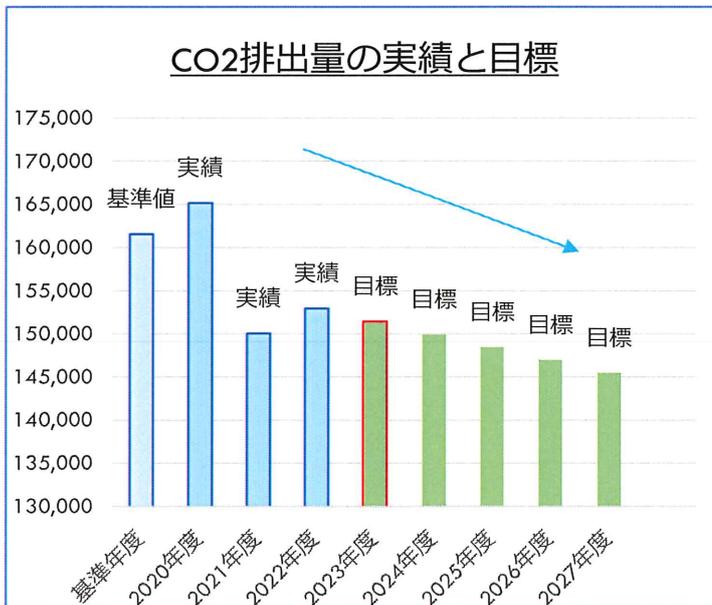
期間：毎年度 2/1～1/31

項目	単位	実績				今年度	4年間 中長期目標 →				備考	
		基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度		
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	161,595	165,219	150,080	152,983	151,453	149,939	148,439	146,955	145,485	
		(%)	100%	102%	91%	99%	99%	99%	99%	99%		
	電力(注)	kWh	101,844	103,555	90,454	88,314	87,431	86,557	85,691	84,834	83,986	重要ポイント
	ガソリン	ℓ	46,515	47,051	42,675	43,796	43,358	42,924	42,495	42,070	41,650	重要ポイント
	軽油	ℓ	1,688	1,949	2,357	2,715	2,688	2,661	2,634	2,608	2,582	
	灯油	ℓ	1,316	1,688	1,641	1,781	1,763	1,746	1,728	1,711	1,694	
	プロパンガス	m3	4.5	7.50	7.20	6.20	6.20	6.20	6.20	6.20	6.20	長野のみ
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	384	384	384	364	364	364	364	364	364	
	可燃ごみ	kg	6,470	14,089	16,380	13,374	13,240	13,108	12,977	12,847	12,719	
水削減	水使用量	m <sup>3</sup>	564	560	612	678	671	664	664	664	664	
		(%)	100%	99%	109%	110%	99%	99%	100%	100%	100%	
化学物質	-	業務上、使用していない										
環境に配慮した施工	活動なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工に使用する資材をECO対応製品の使用を優先する</li> <li>・作業上での廃棄物削減に務める</li> </ul>										
グリーン購入	2020年7月より取り組み	ISOの施工品質計画書に盛り込み実施 その件数を増加させる（前年比102%目標）										
地域環境活動への参画	松本市	資材や事務・消耗品などの購入はグリーン購入に配慮する										
	松本市、他	積極的参画を検討する										

注)中部電力(株) 2018年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

注)  ...前年比減少(改善)  ...前年比増加(検討を要す)

上表より



重要ポイント：総排出量の92%をガソリン／電力が占めている！

【別紙 2】具体的な取組み内容

# 環境経営計画

1) 計画 (実施内容・手段・日程・担当/責任者など)

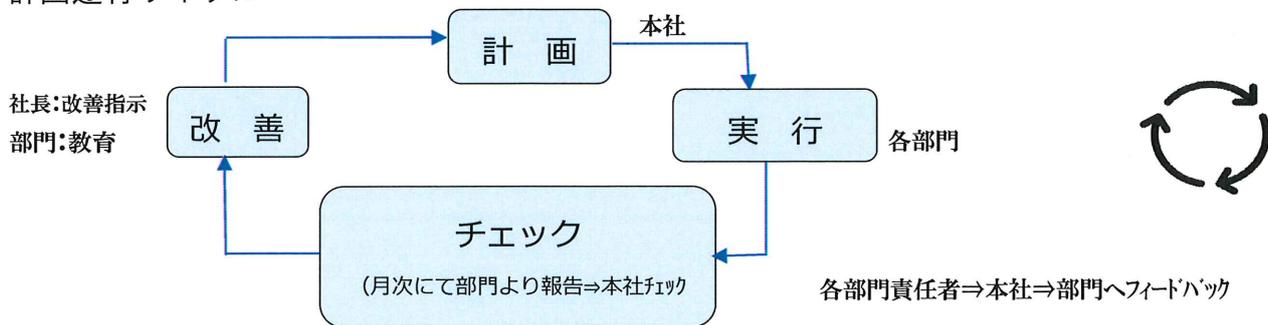
期間：2023年2月1日～2024年1月末

計画項目	手段 (実施の具体的方法)	日程												責任者	
		2023年											2024		
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
CO <sub>2</sub> ・二酸化炭素排出量削減について	電気使用量の削減	→ 事務所内…外出時/不在時の消灯徹底する	←————→												部門責任者
		→ 事務所/倉庫の不要照明・不要換気扇オフ	←————→												部門責任者
		→ OA機器適正管理	←————→												部門責任者
		→ エアコン温度管理の徹底	←————→												部門責任者
		→ エアコン・ヒーター使用の管理	←————→												部門責任者
		→ 退社時電源チェック	←————→												部門責任者
		→ クールビズ/ウォームビズの徹底	←————→												管理責任者
	ガソリン/軽油使用量の削減	→ エコドライブの実施	←————→												部門責任者
		→ アイドリングストップの実施	←————→												部門責任者
		→ 運行車両の削減	←————→												部門責任者
→ 車両管理の徹底		←————→												部門責任者	
→ 運行管理の徹底		←————→												管理責任者	
灯油使用量の削減	→ ストープ温度管理の徹底	←————→												部門責任者	
	→ 退社時電源チェック	←————→												部門責任者	
廃棄物の削減	→ 一般可燃ごみ削減	→ 無駄なコピーをしない/不要な資料の削減	←————→												部門責任者
		→ 再利用の促進 (コピー用紙裏表利用)	←————→												部門責任者
	→ 混合廃棄物の分別	→ 産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う	←————→												部門責任者
水使用量の削減															
	→ 節水の徹底	→ 清掃時、手洗い時節水を各自徹底する	←————→												部門責任者
環境に配慮した施工															
	→ 自らが提供する製品・サービスの環境性能の改善	→ 施工技術などの環境性能の改善	←————→												部門責任者
グリーン購入															
	→ 環境に配慮した製品の優先利用	→ 社内利用の資材は、環境配慮製品を優先利用	←————→												本社/部門
地域環境活動への参画															
	→ 関係する地域の環境活動への参画	→ 地域それぞれの環境活動への参画を検討する	←————→												社長

注)

2) 計画遂行サイクル

注) 各項目の実施については、ISO9001の活動とあわせ以下のとおり管理/推進する



【別紙 3】 1) 実施結果 (成果) 2) 評価 (課題・問題点など)

## 7. 環境経営目標の実績と評価

### 1) 目標及び計画に対する実績

項目		単位	2020年	2021年	2022年	2023年2月1日～2024年1月31日				備考	
						2023年度 目標値 →		2023年度 実績			評価
						前年比		達成度			
CO2総排出量 (kg-CO2)		kg-co2	165,219	150,080	152,983	99%	151,453	98%	149,086	○	前年比、2%削減
電力 *1 (kWh)	使用量	kwh	103,555	90,454	88,314	99%	87,431	96%	83,782	○	削減効果あり 諏訪：蛍光灯LED化の実施
	排出量	kg-CO2	46,807	40,885	39,918		39,519		37,869		
ガソリン (L)	使用量	L	47,051	42,675	43,796	99%	43,358	101%	43,664	×	僅か増加！削減ならず
	排出量	kg-CO2	109,158	99,006	101,607		100,591		101,300		
軽油 (L)	使用量	L	1,949	2,357	2,715	99%	2,688	85%	2,287	○	削減効果あり
	排出量	kg-CO2	5,028	6,081	7,005		6,935		5,900		
灯油 (L)	使用量	L	1,688	1,641	1,781	99%	1,763	91%	1,605	○	削減ならず 冬季のみ（事務所）
	排出量	kg-CO2	4,203	4,086	4,435		4,390		3,996		
プロパンガス (m3)	使用量	m3	7.5	7.2	6.2	100%	6.2	115%	7.1	×	使用は長野のみ
	排出量	kg-co2	23	22	19		19		21		
産業廃棄物	可燃ごみ	kg	384	384	364	100%	364	100%	372	×	僅かに増加
	産廃（混合）		14,089	16,380	13,374	99%	13,240	57%	7,514	○	大幅削減…現場条件による
上下水道 (m³)	水使用量	m³	560	612	678	99%	671	80%	536	○	削減
環境に配慮した 施工	施工物件ごと	件	7月よりの活動	月次にて取組み検証を行う	月次にて取組み検証を行う	活動	月次にて取組み検証を行う	今後、実施状況を数値化することを検討する			検討を要す
グリーン購入		件	なし	取組推進	取組推進	推進（一覧表管理）		推進（一覧表管理にて更に推進）			継続活動
地域環境活動への参画		件	なし	松本市	松本市	・松本市エコオフィス ・その他検討		・松本市エコオフィス ・諏訪湖クリーンプロジェクト参画			継続活動

※1、中部電力㈱ 2018年度二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

### 2) 実績の評価 (2023年2月1日～2024年1月31日)

<総括的>

総排出量2%の削減ができた。ガソリンの消費が微増に抑えられたため、全体排出量削減となった。新年度においてもガソリンの使用量削減をポイントに活動を推進する。

- (1) 電力 …次ページ月別参照  
前年に続き削減できた。諏訪グループの事務所蛍光灯のLED化を行った効果もあったか。
- (2) ガソリン、軽油 …次ページ月別参照  
①ガソリンの使用量は、残念ながら微増となった。受注物件の地域的遠近によるものと思われる。  
②ディーゼルの台数は2台で変更ないが、使用量の削減ができた。
- (3) 灯油  
冬季での暖房への使用が中心であるが、使用調整などの削減効果が表れたものと思われる。
- (4) 産廃  
現場の環境・条件の影響もあるが、大幅な削減となった。
- (5) 上下水道  
活動効果により削減
- (6) 環境に配慮した施工  
ISO9001（施工品質計画書）に取り込み、月次での活動検証を実施しているが、取組みを更に増加させ、改善していく必要がある
- (7) グリーン購入  
事務・消耗品ならびに印刷物など環境に配慮した材質／製品に順次切替を実施している
- (8) 地域環境活動への参画  
松本市「エコオフィスまつもと」に加え、諏訪湖クリーンプロジェクトに参画した。

【別紙 4】その改善に向けて

1 1. 代表者の全体評価と見直し・指示

項目		評価の内容	
全体評価	環境への取組みは適切に実施されているか	年間での二酸化炭素排出量が前年比削減となった。 しかし、排出量の70%を占めるガソリンの使用量は微増であり課題。 全般的には適切に取り組みされている	
	環境経営システムが有効に機能しているか	月次での管理状況も踏まえ、システム全体として問題なく 有効に機能している	
見直しと指示事項	対象	変更の有無	見直しの内容・指示
見直しと指示事項	組織の概要	■あり / □無	最新情報掲載
	環境経営方針	□あり / ■無	本年変更なし
	リスクと機会	■あり / □無	環境経営計画作成時、毎回見直しを行い、社内周知した
	適用範囲など	□あり / ■無	本年変更なし
	環境経営目標	■あり / □無	年度ごと見直し社内周知した
	環境経営計画		
	実施体制	□あり / ■無	本年変更なし
	手順書など	□あり / ■無	本年変更なし

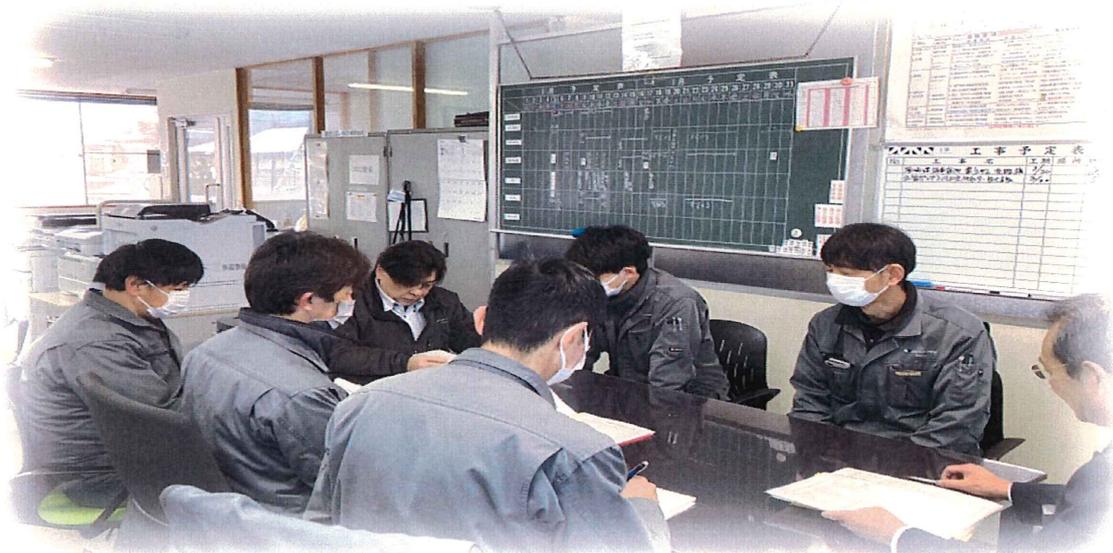
【総括】

エコアクション21の活動の3年目であった。CO2総排出量は2%削減と活動効果が見られた。  
総排出量の約70%を占めるガソリンの使用量が微増に抑えられたことが全体排出量の削減に繋がったと思われる。  
継続して削減できるよう社内への周知と教育・指導を行い活動を更に活性化させる。

【今後の見直し・指示】

- 1、継続して総CO2排出量の95%を締める、ガソリンならびに電力の使用量削減に特化した活動を指示する  
(特にガソリンについては、前回審査において指摘された、車輛ごとの燃費管理を徹底し、使用量削減させる)
- 2、ISO-9001の活動にあわせ年間を通じて環境に対する意識を高める指導・教育を行う  
(年5回の機会を活用する…マネジメントレビュー会議 / 内部監査 (年2回) / 経営会議 (年2回) )
- 3、地域個別の環境活動への積極的参加を検討し、脱炭素社会へ貢献する。  
本、見なおし・指示事項は、各部門ミーティングの場で毎週教育・周知を行う。

2024年3月13日  
代表取締役 宮尾文夫



部門ミーティング (教育・研修風景)  
富士コムテック株式会社